

DEVICE AND METHOD FOR PORTABLE RADIO COMPATIBILITY DIAGNOSIS

Publication number: JP11313001 (A)

Publication date: 1999-11-09

Inventor(s): NAN TEISHO; KEN HEIKU

Applicant(s): SAEHAN INFORMATION SYST INC

Classification:

- **international:** **A63F9/06; A63H30/04; H04B1/38; A63F9/06; A63H30/00; H04B1/38;** (IPC1-7): H04B1/38; A63F9/06; A63H30/04

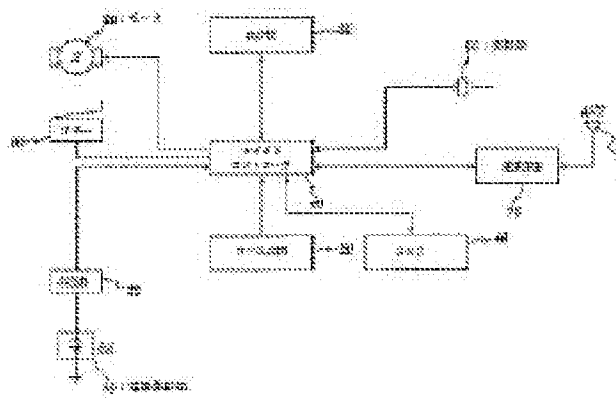
- **European:**

Application number: JP19990052799 19990301

Priority number(s): KR19980006883 19980303; KR19980049170 19981117

Abstract of **JP 11313001 (A)**

PROBLEM TO BE SOLVED: To confirm compatibility with the distant opposite sex only by setting self-information and the information of the desired party and to automatically display the address to contact the party when the congeniality is matched. **SOLUTION:** This device is provided with a key input part 30 for inputting user information and the ideal type information of the desirable party to keep company with, memory 45 preserving the inputted user information and ideal type information and preserving a data analyzing program for analyzing the congeniality of that party, based on the ideal type information and the information of the party received from the outside, microcontroller 40 for judging the level of the congeniality with the party by reading out the data analyzing program the ideal type information out of the memory 45 when the information of the party is received from the outside, display part 50 for displaying the telephone number of the party when the level of the congeniality is higher than a prescribed value, and transmission/reception part 70 for receiving the party information from the outside and transmitting it to the microcontroller 40.



Data supplied from the **esp@cenet** database — Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-313001

(43) 公開日 平成11年(1999)11月9日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

F I

H 0 4 B 1/38

H 0 4 B 1/38

A 6 3 F 9/06

A 6 3 F 9/06

A 6 3 H 30/04

A 6 3 H 30/04

Z

審査請求 未請求 請求項の数11 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号 特願平11-52799

(22) 出願日 平成11年(1999)3月1日

(31) 優先権主張番号 1 9 9 8 6 8 8 3

(32) 優先日 1998年3月3日

(33) 優先権主張国 韓国 (K R)

(31) 優先権主張番号 1 9 9 8 4 9 1 7 0

(32) 優先日 1998年11月17日

(33) 優先権主張国 韓国 (K R)

(71) 出願人 598053781

世韓情報システム株式会社

大韓民国ソウル特別市江南区大峙3洞942-10

(72) 発明者 南 貞 燮

大韓民国ソウル特別市永登浦区汝矣島洞大橋アパート5棟806号

(72) 発明者 權 炳 ▲いく▼

大韓民国京畿道龍仁市水枝邑豊徳川里693三星1次アパート105棟302号

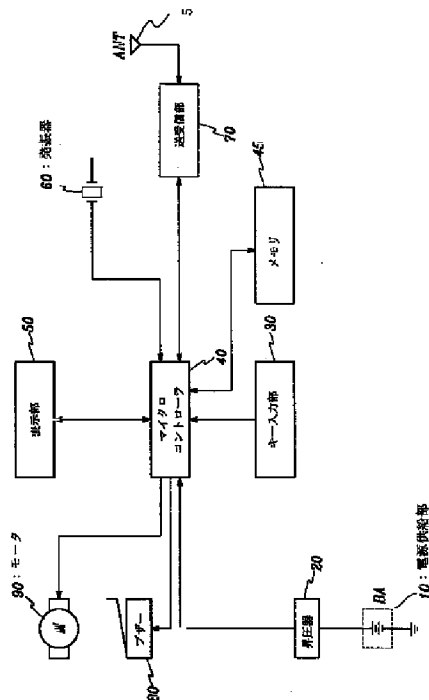
(74) 代理人 弁理士 渡辺 喜平 (外1名)

(54) 【発明の名称】 携帯用無線相性診断装置及び無線相性診断方法

(57) 【要約】

【課題】 自己情報と希望する相手の情報を設定するだけで、遠く離れている異性との相性を確認でき、相性が合う場合には自動的に相手の連絡先を表示する。

【解決手段】 使用者情報と、交際を希望する相手の理想型情報を入力するキー入力部30と、入力された使用者情報及び理想型情報を保存し、理想型情報と外部から受信される相手情報に基づきその相手との相性を分析するデータ分析プログラムを保存したメモリ45と、相手の情報が外部から受信されると、メモリ45のデータ分析プログラムと理想型情報を読み出し相手との相性の程度を判断するマイクロコントローラ40と、相性の程度が所定値以上である場合にその相手の電話番号を表示する表示部50と、使用者情報を外部に送信するとともに、外部からの相手情報を受信してマイクロコントローラ40に伝送する送受信部70を備えた構成としてある。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 名前、電話番号、生年月日、性別を含む使用者情報と、交際を希望する相手の生年範囲を含む理想型の情報とを入力するキー入力部と、

前記キー入力部により入力された使用者情報及び理想型の情報を保存するとともに、前記理想型の情報と外部から受信される相手の情報に基づき、その相手との相性を分析するデータ分析プログラムを保存するメモリと、前記相手の情報が外部から受信されると、前記メモリに保存された前記データ分析プログラムと前記理想型の情報とを読み出し、その相手との相性の程度を判断するマイクロコントローラと、

前記マイクロコントローラにより判断された相性の程度が所定値以上である場合に、その相手の電話番号を表示する表示部と、

前記使用者の情報を変調した後に高周波信号に変換して外部に送信するとともに、外部から受信される高周波信号を基底帯域信号に変換して復調し、前記マイクロコントローラに伝送する送受信部と、
を備えることを特徴とした携帯用無線相性診断装置。

【請求項2】 前記理想型の情報と前記外部から受信される相手の情報に基づき、前記マイクロコントローラによって判断された相性の程度が所定値以上である場合に、前記マイクロコントローラの制御信号によって振動を発生させる振動発生手段を備えた請求項1記載の携帯用無線相性診断装置。

【請求項3】 前記振動発生手段が、前記マイクロコントローラによって判断された相性の程度に応じて振動の周期又は強さを変化させる請求項2に記載の携帯用無線相性診断装置。

【請求項4】 時間及び月日演算の基準となる周波数を発振する発振手段を備えた請求項1～3のいずれか一項に記載の携帯用無線相性診断装置。

【請求項5】 前記送受信部が、前記マイクロコントローラから送信のために入力される情報を基底帯域のアナログ信号に変調する変調部と、この変調部によって変調された基底帯域のアナログ信号を高周波信号に変換する上向周波数変換部と、この上向周波数変換部によって変換された高周波信号を増幅する第1増幅部と、この第1増幅部により増幅された高周波信号を外部に送信するとともに、外部から伝送された高周波信号を受信するアンテナと、このアンテナから受信される外部からの高周波信号を増幅する第2増幅部と、この第2増幅部により増幅された高周波信号を基底帯域のアナログ信号に変換する下向周波数変換部と、この下向周波数変換部によって変換された基底帯域のアナログ信号を復調し、前記マイクロコントローラに伝送する復調部と、を備えた請求項1～4のいずれか一項に

記載の携帯用無線相性診断装置。

【請求項6】 前記マイクロコントローラにより判断された相性の程度が所定値以上である場合に、前記表示部が、その相性が合う相手の電話番号をコールバック信号により表示し、

この表示部上に表示された電話番号に対して送信キーを押すことにより、当該電話番号に自動的に電話がかかる請求項1～5のいずれか一項に記載の携帯用無線相性診断装置。

【請求項7】 前記メモリが、各年齢別及び月日別のバイオリズムと運勢に関するデータを保存するとともに、前記マイクロコントローラが、前記キー入力部によって入力されるモード信号に応じて、前記バイオリズム又は運勢に関するデータを前記表示部に出力する請求項1～6のいずれか一項に記載の携帯用無線相性診断装置。

【請求項8】 前記メモリが、ゲームを実行するためのプログラムを保存するとともに、

前記マイクロコントローラが、前記ゲームが実行されるとその実行結果を前記送受信部を介して外部に送信するとともに、前記プログラムと同一のゲームを実行する他の使用者のゲーム結果を前記送受信部を介して受信し、これによって、複数の使用者が同時にゲームを実行することができる請求項1～7のいずれか一項に記載の携帯用無線相性診断装置。

【請求項9】 名前、電話番号、生年月日、性別を含む使用者情報と、交際を希望する相手の生年範囲を含む理想型の情報をメモリに入力する工程と、

前記使用者情報を変調した後に、高周波信号に変換して送信する工程と、

外部から受信される高周波信号を基底帯域信号に変換して復調して、相手の使用者情報を得る工程と、

前記メモリに保存された理想型の情報と前記工程で得た相手の使用者情報に基づき、その相手との相性の程度を判断する工程と、

判断された相性の程度が所定値以上である場合に、その相手の電話番号を表示部に表示する工程と、を有することを特徴とする無線相性診断方法。

【請求項10】 前記理想型の情報と前記外部から受信される相手の情報に基づいて判断された相性の程度が所定値以上である場合に、使用者に振動信号を発生する工程を有する請求項9に記載の無線相性診断方法。

【請求項11】 前記振動信号の振動の周期又は振動の強さが、前記工程で判断された相性の程度に応じて変化する請求項10に記載の無線相性診断方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、携帯用無線相性診断装置及び無線相性診断方法に関し、より詳しくは、遠く離れている相手との相性の程度が一定値以上である場合に、自動的に相手の電話番号を表示する携帯用無線相

性診断装置及び無線相性診断方法に関する。

【0002】

【従来の技術】近來、パーティーや合同コンパと呼ばれる会合（通称「合コン」）等の増加に伴い、異性間の交際機会が次第に増加しており、実際に異性間の交際を希望する者は、交際しようとする異性との相性がどの程度合うかについてあらかじめ知りたい場合がある。このような相性の一致の程度を知る手段として、従来、コンピューター等に所定の相性プログラムを保存した相性診断装置が開発されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、従来の相性診断装置は、コンピューター等の装置を必要とするため、装置が大型化してしまい、設置場所が限定されるという問題点があった。また、このような従来の相性診断装置を利用するためには、事前に相手の同意を求め、その上で、相性診断装置が設置されている場所まで移動して相性診断に必要な情報を入力しなければならなかった。このため、従来の相性診断装置は、ある程度知り合っている異性間の交際にのみ利用され、パーティーや会合等のように、互いにまったく知らない人たちの集まりで相性の合う異性を探そうとする場合には使用することができなかった。

【0004】本発明は、このような従来の相性診断装置の問題点を解決するために提案されたものであり、生年月日や電話番号等のような自己情報と希望する相手の情報とをあらかじめ設定するだけで、遠く離れている相手との相性が合致するか否かを確認できるとともに、相手と相性が合う場合には自動的に相手の連絡先を表示することができる携帯用無線相性診断装置の提供を目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、本発明の携帯用無線相性診断装置は、名前、電話番号、生年月日、性別を含む使用者情報と、交際を希望する相手（異性）の生年範囲を含む理想型の情報とを入力するキー入力部と、前記キー入力部により入力された使用者情報及び理想型の情報を保存するとともに、前記理想型の情報と外部から受信される相手の情報に基づき、その相手との相性を分析するデータ分析プログラムを保存するメモリと、前記相手の情報が外部から受信されると、前記メモリに保存された前記データ分析プログラムと前記理想型の情報とを読み出し、その相手との相性の程度を判断するマイクロコントローラと、前記マイクロコントローラにより判断された相性の程度が所定値以上である場合に、その相手の電話番号を表示する表示部と、前記使用者の情報を変調した後に高周波信号に変換して外部に送信するとともに、外部から受信される高周波信号を基底帯域信号に変換して復調し、前記マイクロコントローラに伝送する送受信部と、を備えた構成とし

てある。

【0006】ここで、前記送受信部は、前記マイクロコントローラから送信のために入力される情報を基底帯域のアナログ信号に変調する変調部と、この変調部によって変調された基底帯域のアナログ信号を高周波信号に変換する上向周波数変換部と、この上向周波数変換部によって変換された高周波信号を増幅する第1増幅部と、この第1増幅部により増幅された高周波信号を外部に送信するとともに、外部から伝送された高周波信号を受信するアンテナと、このアンテナから受信される外部からの高周波信号を増幅する第2増幅部と、この第2増幅部により増幅された高周波信号を基底帯域のアナログ信号に変換する下向周波数変換部と、この下向周波数変換部によって変換された基底帯域のアナログ信号を復調し、前記マイクロコントローラに伝送する復調部と、を備えた構成としてある。

【0007】また、前記メモリは、各年齢別及び月日別のバイオリズムと運勢に関するデータを保存するとともに、前記マイクロコントローラが、前記キー入力部によって入力されるモード信号に応じて、前記バイオリズム又は運勢に関するデータを前記表示部に出力する構成としてある。

【0008】また、このメモリは、ゲームを実行するためのプログラムを保存するとともに、前記マイクロコントローラが、前記ゲームが実行されるとその実行結果を前記送受信部を介して外部に送信するとともに、前記プログラムと同一のゲームを実行する他の使用者のゲーム結果を前記送受信部を介して受信し、これによって、複数の使用者が同時にゲームを実行することができる構成としてある。

【0009】また、本発明の携帯用無線相性診断装置は、前記理想型の情報と前記外部から受信される相手の情報に基づき、前記マイクロコントローラによって判断された相性の程度が所定値以上である場合に、前記マイクロコントローラの制御信号によって振動を発生させる振動発生手段を備えた構成としてあり、特に、この振動発生手段は、前記マイクロコントローラによって判断された相性の程度に応じて振動の周期又は強さを変化させる構成とすることが好ましい。

【0010】また、本発明の携帯用無線相性診断装置は、時間及び月日演算の基準となる周波数を発振する発振手段を備えることが好ましい。さらに、本発明の携帯用無線相性診断装置は、マイクロコントローラにより判断された相性の程度が所定値以上である場合に、前記表示部が、その相性が合う相手の電話番号をコールバック信号により表示し、この表示部上に表示された電話番号に対して送信キーを押すことにより、当該電話番号に自動的に電話がかかる構成とすることが好ましい。

【0011】一方、本発明の無線相性診断方法は、名前、電話番号、生年月日、性別を含む使用者情報と、交

際を希望する相手の生年範囲を含む理想型の情報をメモリに入力する工程と、前記使用者情報を変調した後に、高周波信号に変換して送信する工程と、外部から受信される高周波信号を基底帯域信号に変換し復調して、相手の使用者情報を得る工程と、前記メモリに保存された理想型の情報と前記工程で得た相手の使用者情報に基づき、その相手との相性の程度を判断する工程と、判断された相性の程度が所定値以上である場合に、その相手の電話番号を表示部に表示する工程と、を有する方法としてある。

【0012】ここで、本発明の無線相性診断方法は、前記理想型の情報と前記外部から受信される相手の情報に基づいて判断された相性の程度が所定値以上である場合に、使用者に振動信号を発生する工程を有し、さらに、前記振動信号の振動の周期又は振動の強さが、前記工程で判断された相性の程度に応じて変化する方法とすることが好ましい。

【0013】

【発明の実施の形態】以下、本発明の携帯用無線相性診断装置及び無線相性診断方法の実施の形態について、図1～図9を参照して説明する。図1は、本発明の一実施形態にかかる携帯用無線相性診断装置の外観を示す平面図である。図1に示すように、本実施形態にかかる携帯用無線相性診断装置1は、外側平面の一側面に、接触性が良好なゴム又はプラスチックなどの合成樹脂からなる電源のオン／オフを選択するスイッチボタン2と、外側の中央下部に所定の個数が設置され、モードの選択と選択されたモードでの希望する機能探索及び探索された機能から任意の機能を選択するキーパッド3と、外側平面の中央上部に位置して、相性が合う相手の名前及び電話番号などを表示する、ドットマトリックス(dot matrix)により構成されたLCD(liquid crystal display)4と、RF(Radio Frequency)方式の無線データ送受信を実行するアンテナ(ANT)5とから構成される。ここで、本実施形態では、アンテナ5は同調コイルが内部に装着される内蔵型に構成してある。

【0014】図2は、上記のような構成からなる本実施形態の携帯用無線相性診断装置の内部構成を示す図面である。図2に示すように、本実施形態にかかる携帯用無線相性診断装置1は、電源供給部10、昇圧器20、キー入力部30、マイクロコントローラ40、メモリ45、表示部50、発振器60、送受信部70、ブザー80及びモータ90を備えている。

【0015】電源供給部10は、携帯用ゲーム機の動作を実行させるための電源を供給するもので、本実施形態では1.5Vのバッテリーを使用している。昇圧器20は、電源のオン信号が検出される場合に、電源供給部10の1.5Vの電源をマイクロコントローラ40が必要とする3Vの電源に昇圧する。キー入力部30は、スイッチボタン2及びキーパッド3の駆動によって接点がス

イッチングされ、スイッチングに対する所定の電氣的信号を出力する。

【0016】メモリ45は、RAM(random access memory)又はROM(read only memory)からなり、相性が合うかどうかを判断するためのデータ分析プログラム及び無線データの送受信のためのプログラム、各年齢別及び月日別バイオリズムと運勢(金銭運、愛情運、事業運、健康運)に関するデータ、ゲーム実行のためのプログラムデータ等を保存するようになっている。マイクロコントローラ40は、メモリ45に保存されている各種データ又はプログラムにアクセスして、キー入力部30を通じて入力される選択信号に応じて携帯用無線相性診断装置1の全般的な動作を制御及び実行する。表示部50は、ドットマトリックスLCDからなり、マイクロコントローラ40から入力される制御信号に応じて、携帯用無線相性診断装置1に対する全般的な動作状態をアイコンやグラフィック又は文字で表示する。

【0017】発振器60は、時間及び月日演算の基準になる周波数を発振してマイクロコントローラ40側に供給するようになっている。送受信部70は、相性のために設定された個人身上に関する情報データ及びプログラムデータなどを変調し、その後RF周波数に変換して送信するとともに、周辺の携帯用無線相性診断装置から出力されるRF信号を受信してこれを復調する。ブザー80は、使用される携帯用無線相性診断装置1の電源が微弱である場合又はゲームの進行及びその他の状況でマイクロコントローラ40から入力される信号に応じて所定の効果音を送出するようになっており、キー操作によって効果音の送出が制御される。モータ90は、使用者が設定した条件に近似する相手(異性)に関する情報が受信される場合に、マイクロコントローラ40から入力される信号によって動作し、振動を発生させるようになっている。このモータ90の振動程度は、本実施形態では、受信される異性に関する情報が設定された条件に近似する程度に応じて、変化するようになっている。

【0018】図3は、図2に示した送受信部70を詳細に示した図面である。図3に示すように、本実施形態の携帯用無線相性診断装置1の送受信部70は、変調部71、上向周波数変換部72、第1増幅部73、送受切換器(duplexer)74、第2増幅部75、下向周波数変換部76、復調部77からなる。図3を参照して説明すると、マイクロコントローラ40から伝送される相性に必要なデータ及びゲームプログラムデータは、変調部71によってASK(amplitude shift keying)信号に変調され、この変調された信号は上向周波数変換器72によって高周波帯域のRF(radio frequency)信号に変換される。このRF信号は、第1増幅部73において増幅され、送受切換器74とアンテナ5を経由して外部に送信され、他の携帯用無線相性診断装置に送信される。

【0019】一方、アンテナ5によって受信された他の

携帯用無線相性診断装置のRF信号は、送受切換器74を介して第2増幅部75に入力され、増幅される。この増幅されたRF信号は、下向周波数変換部76によって基底帯域信号(baseband signal)に変換され、この変換された信号は、復調部77によってデジタルデータ信号に復調されてマイクロコントローラ40に伝送される。なお、図3に示す送受切換器74は、送受信用であって、アンテナ5を共用するためのものである。

【0020】次に、以上のような構成からなる本実施形態の携帯用無線相性診断装置1を運用する場合の動作を、図4～図9を参照して説明する。まず、図4及び図5を参照して、相性のためのデータの入力過程及びこの入力値に基づいて相性が合う相手の情報を表示する場合の動作を説明する。図4に示すように、電源供給部10に装着されたバッテリーから供給される1.5Vの電源が昇圧器20によって3Vの電源に昇圧されてマイクロコントローラ40に印加された状態で、図1に示したスイッチボタン2の操作により、キー入力部30の任意の接点スイッチングされて電源オン信号がマイクロコントローラ40側に入力されると、マイクロコントローラ40は、設定されたプログラムによってブーティング(Booting)されて初期実行環境を設定し(S11)、その後、動作待機モードに入る(S12)。

【0021】この動作待機モードを維持した状態で、マイクロコントローラ40は、外部から無線データの受信があるかを判断する(S13)。この段階で外部からの無線データの受信が検出されないと、図5に示すように、キー入力部30からキー信号の入力があるかを判断する(S24)。この段階でキー信号の入力が検出されると、図5に示すように、検出されたキー信号が使用者の個人身上情報や理想型の異性に対する条件を設定するためのモード設定キー信号であるかを判断し(S25)、モード設定のためのキー信号である場合には、マイクロコントローラ40は、選択される該当モードに進入し(S26)、選択されるキー信号に応じて該当条件を設定する(S27)。

【0022】このとき、マイクロコントローラ40は、キーパッド3の接点選択によってキー入力部30から入力されるスクロール動作を検出し、それに対するモードに進入すると同時に、スクロールに対する動作とモードの選択に対する動作状態を、図8に示すような表示として、ドットマトリックスからなる表示部50に表示する。例えば、図8に示すように、使用者自身(OWN)の名前(NAME)、連絡先(TEL)、生年月日(BIR)、性別(SEX)、交際を希望する異性(PAR)の生年範囲(HOPE AGE)、交際を希望する理想型の異性に対する相性点数等が表示部50に表示され、モード選択及び設定に対する動作を進行することができる。

【0023】その後、選択されたモードへの進入及び進入したモードでの必要な情報の選択を完了し、設定完了

キー信号を選択すると(S28)、マイクロコントローラ40は、入力されたキー信号によってモード設定を完了し、その後、待機モードに入る(S29)。

【0024】一方、図4に示すS13において、他の携帯用無線相性診断装置からのデータが受信された場合には、マイクロコントローラ40は、受信されたデータを分析し(S14)、使用者が理想型の異性に設定した相性条件に近似するかどうかを判断する(S15)。この段階で、受信されたデータが設定された条件を満たさない場合は、マイクロコントローラ40は受信されたデータを無視し(S23)、その後、待機モードに入る(S22)。一方、受信データが設定された条件に近似する場合、その受信されたデータをメモリ45に保存すると同時に、モータ90の駆動による振動の発生によって、設定された相性条件に近似する異性に関するデータが受信されたことを使用者に通報する(S16)。このとき、受信された相手のデータの条件が設定された相性条件に合う程度に応じて、振動の周期及び大きさは変化する。すなわち、相手のデータ条件が設定された相性条件に近似するほど振動の周期及び大きさが大きくなる。

【0025】そして、このように異性に関する情報が受信されると、マイクロコントローラ40は、キー入力部30から保存されているデータを出力するための探索キー信号が検出されるかを判断する(S17)。この段階で探索キー信号の入力が検出されると、マイクロコントローラ40は、メモリ45に保存された異性に関する電話番号、名前等の各種情報を、図9に示すような表示によって、表示部50に表示する(S18)。これにより、使用者が設定した相性条件に合う相手の電話番号及び名前が表示部50に表示されるので、使用者は表示された電話番号のところに電話をかけることによって相性の合う相手と容易に交際をすることができる。

【0026】また、S18で選択されたデータの出力が維持された状態で、さらに連続的なキー選択信号が検出されるかが判断され(S19)、この段階でキー信号の入力が検出された場合には、選択された受信データを、上述と同様の動作により、図9に示すような表示を表示部50に表示する(S20)。このとき、受信データの表示がされた状態の間、発振器60から発振周波数が出力され、表示のために設定された一定時間がマイクロコントローラ40においてカウントされ、所定の時間が経過したと判断されると(S21)、待機モードに入る(S22)。なお、S19においてキー信号の入力が検出されない場合には、そのままS21に進行し、一定時間経過後、待機モードに入る(S22)。

【0027】次に、本実施形態のマイクロコントローラ40により、異性間の交際のために設定された使用者情報を送受信する場合の動作を図7を参照して説明する。図7に示すように、マイクロコントローラ40は、設定した使用者自身の情報を、一定時間の間隔においてRF

無線データに変調して伝送するとともに(S101)、他の携帯用無線装置から送信される相手の受信信号を分析し、この受信データ信号が良好であるか否かを判断する(S102、S103)。このとき、相手からのデータ受信が正常に行われる場合には待機モードに入り(S104)、相手からの受信が定期的に行われない場合には相手の携帯用無線呼出器に再伝送を要求する(S105)。また、本実施形態のマイクロコントローラ40では、同一地域で一定時間以上同一情報が受信される場合には、情報の受信動作を遮断して反復的なデータの受信を排除し、また、受信される異性に関する情報の相性条件が、すでに保存されている条件より良好な状態である場合には、条件が最低である既存の受信データをクリアした後、該当番地に新たに受信された異性に関する情報を保存するようになっている。

【0028】さらに、本実施形態にかかる携帯用無線相性診断装置1では、異性との相性以外に、相手と無線でゲームをすることができるとともに、使用者の運勢及びバイオリズムを知ることができるようになっている。この動作について図5及び図6に基づいて説明する。まず、図5に示すように、モード設定段階(S25)において検出されるキー信号がモード設定のためのキー信号でない場合、ゲーム実行を要求するキー信号であるかどうか判断される(S30)。そして、キー信号がゲーム実行を要求するキー信号であると、マイクロコントローラ40は、設定されたゲームプログラムをメモリ45からローディングして実行させると同時に、ローディング実行されるゲームの動作状態を表示部50を通じてディスプレイする(S31)。これにより、使用者はゲームを実行することができる。

【0029】ゲーム中は、例えばゲームの進行に従って目標物が撃破されるかキーパッドの操作が検出されると、マイクロコントローラ40は、ブザー80を駆動し効果音を出力させる。そして、ゲームにおいて、例えば使用者が任意の目標物を撃破すると、マイクロコントローラ40は、撃破された目標物に対するデータを認識し、当該データを図3に示した変調部71においてASK変調させる。その後、この変調された信号は上向周波数変換部72及び第1増幅部73においてRF信号に変換、増幅され、増幅された信号は送受切替器74及びアンテナ5を経由して周辺に位置している同種の携帯用無線相性診断装置に伝送される。これにより、このゲームの送信データを受信した他の携帯用無線相性診断装置が同一のゲームを進行している状態にあると、受信された目標物が他の携帯用無線相性診断装置において再度再生される。

【0030】また、他人が携帯した無線相性診断装置で行われるゲームにおいて撃破された目標物データは、アンテナ5を介して受信され、第2増幅部75、下向周波数変換部76において増幅され基底帯域信号に変換され

た後、この変換された信号が復調部77においてデジタルデータ信号に復調され、その後、マイクロコントローラ40側に入力される。マイクロコントローラ40は、受信されたゲーム情報を分析して現在進行しているゲームと同一の種類である場合、受信された目標物を再生させる。これにより、本実施形態の無線相性診断装置1を用いることにより、無線で数名がゲームを同時に進行することができる。

【0031】さらに、図5に示すS25において、検出されるキー信号がモード設定でもゲーム選択を要求する信号でもない場合には、図6に示すように、使用者自身のバイオリズムを出力するための選択信号であるかどうか判断される(S33)。ここで選択される信号がバイオリズムを出力するための信号であると判断されると、マイクロコントローラ40は設定されたプログラムによって感性リズムと身体リズム及び知性リズムに関する情報を表示部50を通じてディスプレイする(S34)。このとき、バイオリズムの情報が出力される状態において、マイクロコントローラ40は、上述と同様、発振器60の発振周波数を通じて時間の経過をカウントし、表示のために割り当てられた所定の時間が経過するかどうか判断する(S35)。そして、設定されたディスプレイ時間が経過したと判断されると、マイクロコントローラ40はディスプレイ動作を中止させ、同時に待機モードに進入する(S36)。

【0032】一方、図5のS25、S30及び図6のS33において、検出されるキー選択信号がモード設定、ゲーム選択及びバイオリズムの選択のいずれでもない判断された場合には、使用者又は希望する者の運勢情報をディスプレイするための信号であるかどうか判断される(S37)。この段階で運勢情報ディスプレイのための選択であると判断されると、マイクロコントローラ40は、設定されたプログラムによって選択された者の一日運勢情報を、表示部50を通じてディスプレイし(S38)、所定の時間が経過したかどうかに応じてディスプレイの終了及び待機モード進入を実行する(S35、S36)。なお、S37において、キー信号が運勢情報を選択する信号でもない判断された場合には、そのキー信号は無視され(S39)、そのまま待機モードに入る(S40)。

【0033】以上説明した本実施形態では、独立した携帯用無線相性診断装置について説明したが、この以外にも、本発明の携帯用無線相性診断装置を他の無線呼出器または携帯電話などに具現して使用することができる。例えば、本発明の携帯用無線相性診断装置を携帯電話に具現することもでき、その場合には次のように本発明を応用することができる。すなわち、他の無線相性診断装置によって送信される情報から、相性の程度を分析した結果、相手との相性の程度が一定値以上であると判断した場合には、相手の電話番号がコールバック(call bac

k) 信号として表示部に表示される。そして、使用者が送信 (SEND) キーを押すと、携帯電話はコールバック信号として表示された電話番号に自動的に電話をかける。これによって、使用者は相性が合う相手が発見された場合、直ちに連絡を取ることが可能となる。

【0034】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の携帯用相性診断装置及び無線相性診断方法によれば、生年月日や電話番号などのような自己情報と希望する相手の情報をあらかじめ設定するだけで、遠く離れている異性と相性が合致するかどうかを確認することができるとともに、相手と相性が合う場合には自動的にその相手の連絡先が表示されるので、異性間の交際に効果的に利用することができる。また、無線データ通信を通じて周辺に同種の相性診断装置を携帯した不特定多数の人の間でゲームを行うことができるとともに、バイオリズム及び運勢などのプログラムを設定することにより相性診断装置の使用効率性をさらに向上させることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施形態にかかる携帯用無線相性診断装置の外観を示す平面図である。

【図2】本発明の一実施形態にかかる携帯用無線相性診断装置の構成を示すブロック図である。

【図3】図2に示す送受信部の詳細構成ブロック図である。

【図4】本発明の一実施形態にかかる携帯用無線相性診断装置におけるデータ受信の処理動作を説明するフローチャート図である。

【図5】本発明の一実施形態にかかる携帯用無線相性診断装置におけるモード設定及びゲーム選択の処理動作を説明するフローチャート図である。

【図6】本発明の一実施形態にかかる携帯用無線相性診断装置のバイオリズム又は運勢情報選択の処理動作を説

明するフローチャート図である。

【図7】本発明の一実施形態にかかる携帯用無線相性診断装置の使用者情報の送受信の処理動作を説明するフローチャート図である。

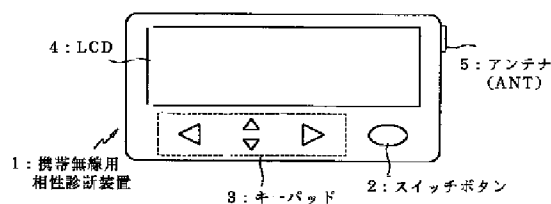
【図8】本発明の一実施形態にかかる携帯用無線相性診断装置のモード設定画面を表示したディスプレイを示す説明図である。

【図9】本発明の一実施形態にかかる携帯用無線相性診断装置の相手情報画面を表示したディスプレイを示す説明図である。

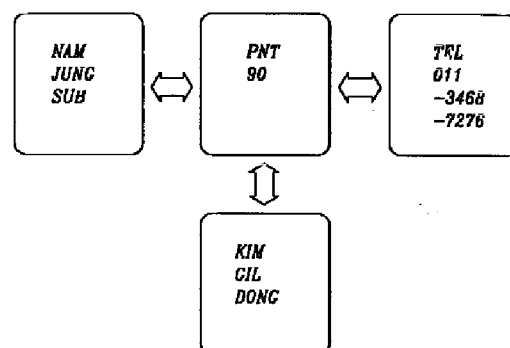
【符号の説明】

- 1 携帯無線用相性診断装置
- 2 スイッチボタン
- 3 キーパッド
- 4 LCD
- 5 アンテナ
- 10 電源供給部
- 20 昇圧器
- 30 キー入力部
- 40 マイクロコントローラ
- 45 メモリ
- 50 表示部
- 60 発振器
- 70 送受信部
- 71 変調部
- 72 上向周波数変換部
- 73 第1増幅部
- 74 送受切換器
- 75 第2増幅部
- 76 下向周波数変換部
- 77 復調部
- 80 ブザー
- 90 モータ

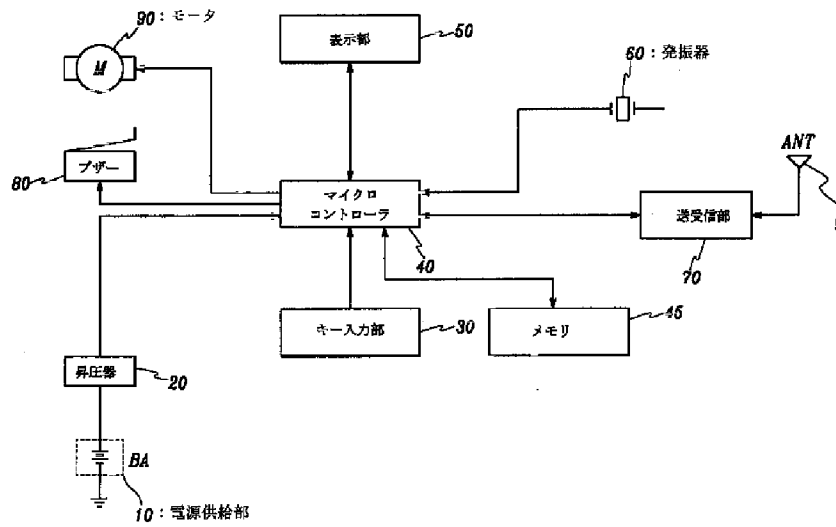
【図1】



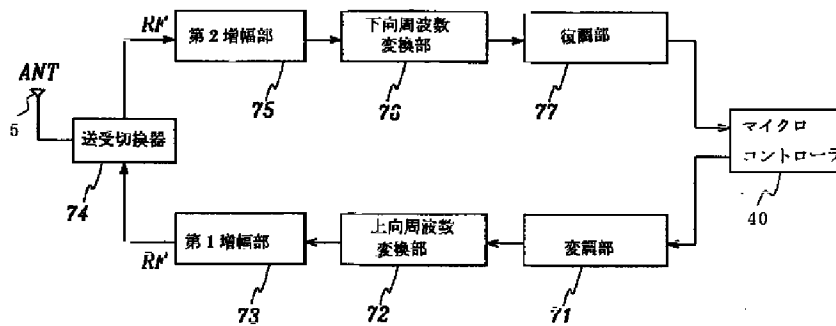
【図9】



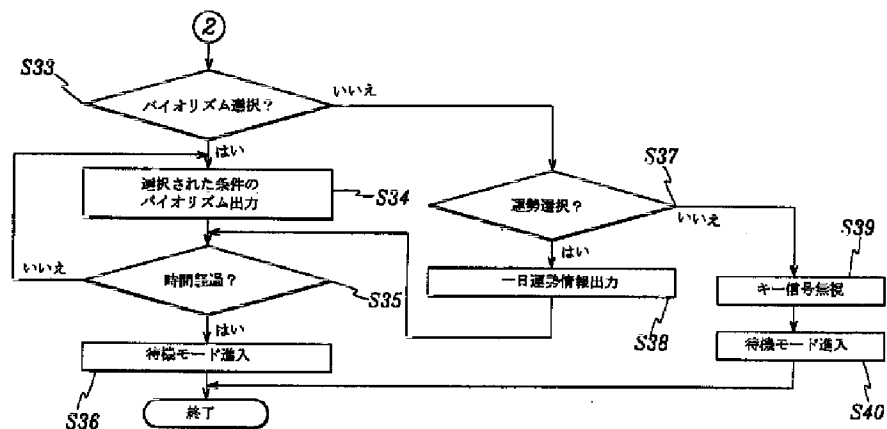
【図2】



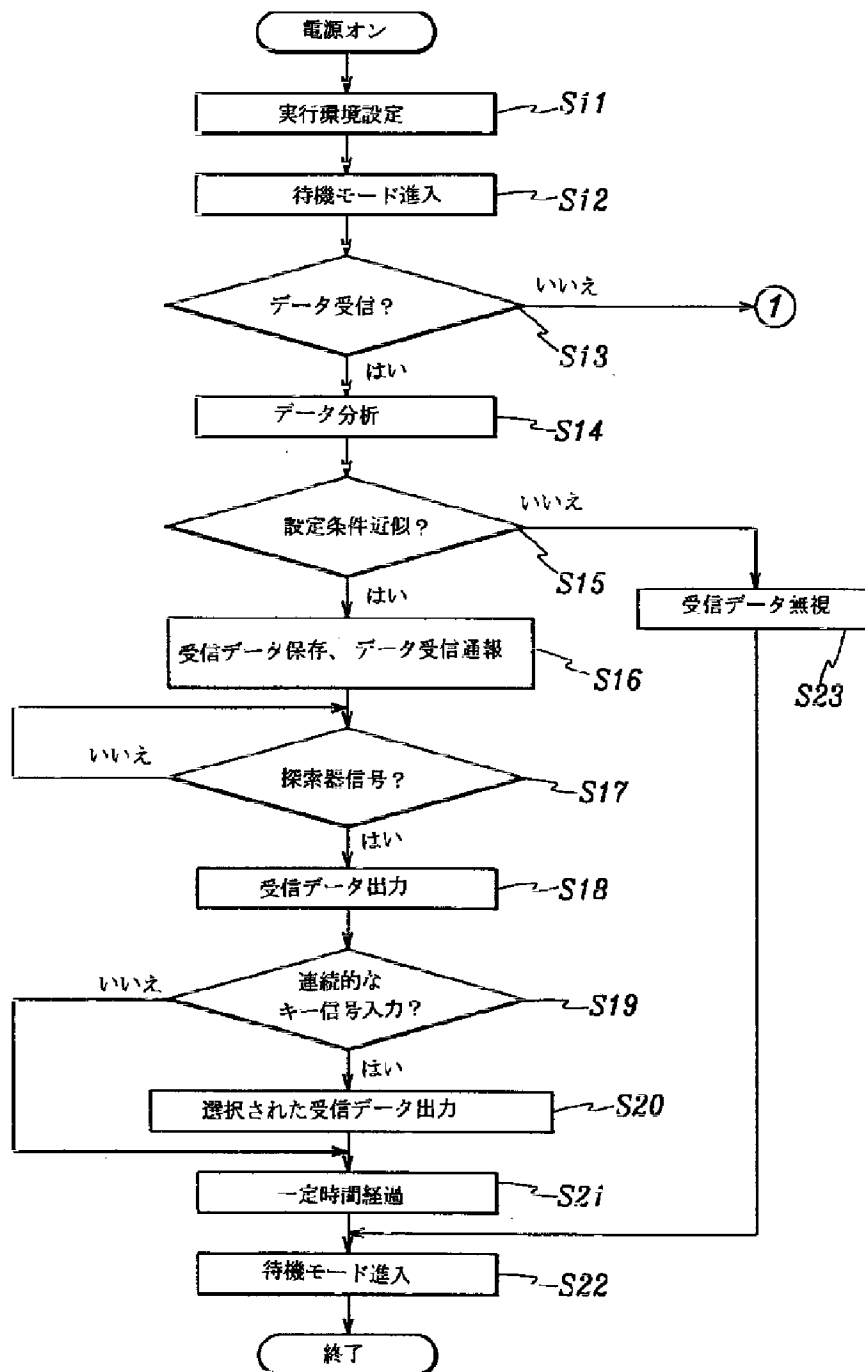
【図3】



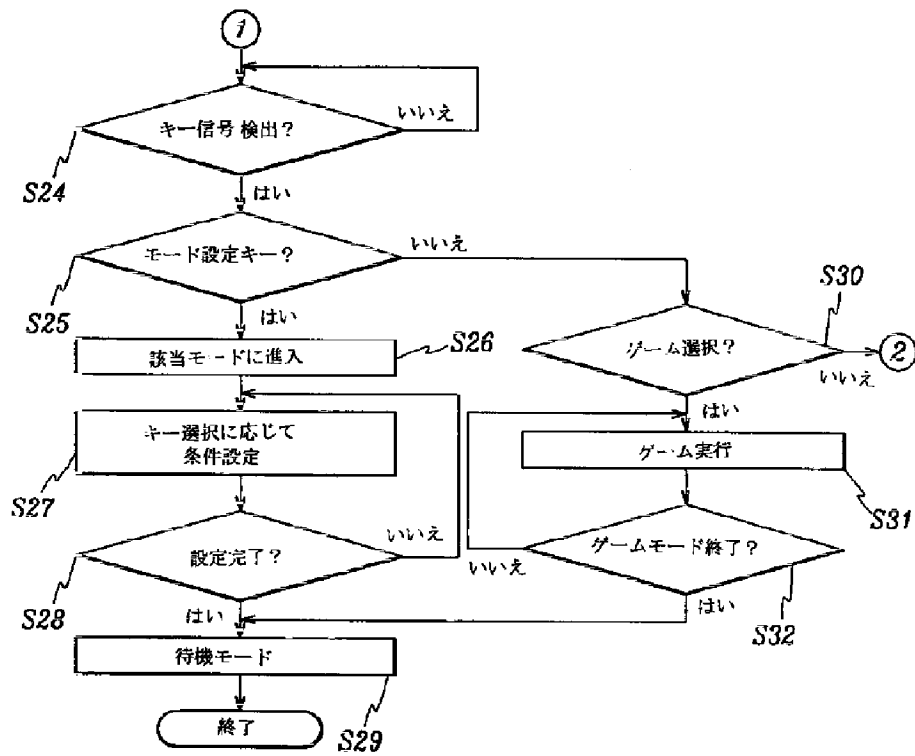
【図6】



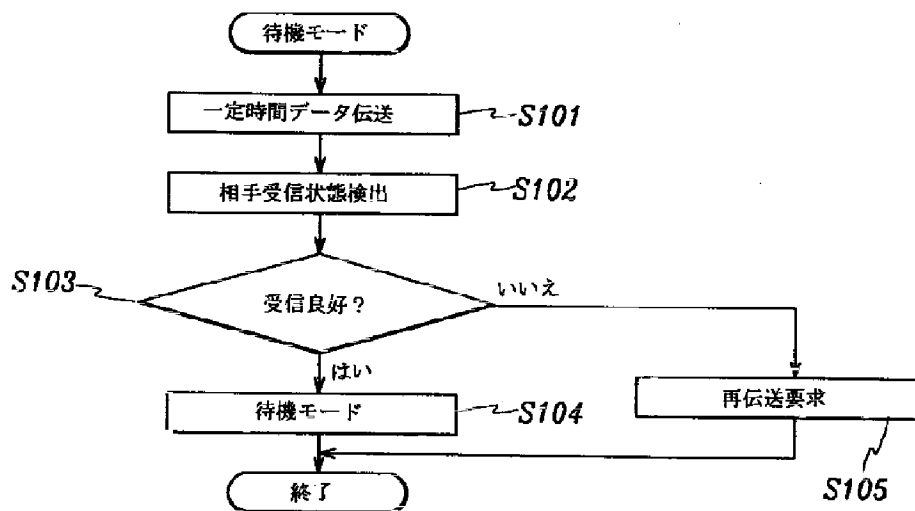
【図4】



【図5】



【図7】



【図8】

